

特別支援学校との意見交換会における事業者間連携に係る要望について

1 通所事業所に係る要望

【経過】

昨年度、小平市では市内通所施設と保護者による意見交換会を開催しており、小金井市でも同様にできないかとの要望があった。これに対し、市からは検討する旨を回答していた。

【要望事項（要約）】

市内通所事業者、市、保護者の情報交換会の開催に係る検討結果を教えてください。

【小平市への状況確認】

小平市に聞き取りを行った結果、小平市では新規開設の事業所もあり、事業所の定員にも余裕があることから、事業所が主催して、利用者へのアピールの場として情報交換会を開催しているとのこと。

【市からの回答（当日の補足含む・要約）】

小平市においては、定員に余裕がある中で事業所主催の情報交換会を行っているが、小金井市においては事業所の数も定員も余裕がなく、小平市とは状況が違うことから同様の開催は難しい。

現在、小金井市地域自立支援協議会では、“地域の現場が抱えている課題を持ち寄って協議し解決を図る”という本来の姿に戻すべく、ネットワークづくりに取り組み始めたところなので、それを通じて、よい機会が作れないか検討したい。

2 計画相談支援事業所に係る要望

【要望事項（要約）】

リストに記載の相談支援事業所について、(医ケア、肢体不自由などに)対応していただけたところがほとんどない。市内及び近隣資源に詳しい市内相談支援事業所により、適期にモニタリングをしながら、適切な形に計画を調整するのが望ましいと考えるが、対応可能な相談事業所について情報提供してほしい。

【当日の追加意見】

市の窓口でリストを渡されても、自分たちで空きを確認しながら受け入れ先を探すのは、特に引っ越してきたばかりの場合などは非常に困難である。市の窓口で紹介したり調整したりできないか。

【市からの回答（当日の補足含む・要約）】

市では空き状況や対応の可否について把握するのは難しい。また、民間の事業所について、特定の事業を推奨するのは難しい立場である。

肢体不自由等への対応の可否、得意・不得意など聞くことはあるが、それをどうお伝えすることができるか、また近隣市も含めて把握できるかなど、仕組みを考えて整理したい。

3 両要望に関する市及び自立支援協議会への要望

【特別支援学校指導担当の意見】

事業所の方に、定員の拡大や事業所の新設などの必要性を考えていただく必要があると思う。今の定員でどのくらいの受入れが可能かという情報交換を事業所同士が行ったり、特別支援学校の状況から何年後に何人分の受け入れが必要かという情報を把握したりすることで、定員拡大や用途の変更等、市への具体的な相談も出てくると思う。

そういったところを自立支援協議会におけるネットワークで情報交換していけると効率的だと思う。

自立支援協議会の中で、事業者がお互いの状況や専門分野等について情報交換ができれば、市は最終的にまとまった資料を入手できると思うので、今あるネットワークを最大限生かしてもらえるとありがたい。